作成日：2026 年 10 月 22 日

研究協力のお願い

昭和医科大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

頭頸部 CTA と機械学習を用いた dRA 脳血管造影の透視時間延長予測

１．研究の対象および研究対象期間

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までに昭和医科大学横浜市北部病院で、術前に頭頸部 CTA を施行し、遠位橈骨動脈アプローチ（dRA）による脳血管造影を受けた患者さんを対象とします。約 300 例を予定しています。

２．研究目的・方法

本研究では、当院において手首付近の動脈（遠位橈骨動脈）からカテーテルを挿入する方法（dRA）で診断脳血管造影検査を受け、検査前に CT 血管撮影（CTA）が行われた患者さん約 300 例を対象とします診療の際に得られた CT 画像や診療記録を用いて、大動脈や頸部血管の形状、血管の分岐角度、長さ、曲がり具合、石灰化の程度などを調べます。また、年齢、性別、高血圧などの患者背景や、検査中の透視時間についても調査します。これらの情報を統計解析や人工知能（AI）を用いた機械学習によって分析し、脳血管造影検査において透視時間が長くなる要因を明らかにするとともに、検査前の CT 画像から検査の難易度を予測できるかを検討します。本研究は、すでに診療で得られた情報を利用する後方視的観察研究であり、研究のために新たな検査や処置を行うことはありません。また、患者さんに追加の身体的負担が生じることもありません。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までに診療時に取得された術前頭頸部 CTA 画像、脳血管造影の手技記録、透視時間、被ばく線量、使用カテーテル、アプローチ変更の有無、年齢、性別等の患者背景情報を使用します。画像から大動脈弓の分枝形態や血管走行などを評価します。解析時には氏名等の直接個人を識別できる情報を取り除き、適切に管理します。

５．外部への試料・情報の提供

該当致しません

６．研究組織

研究責任者　　研究機関名　昭和医科大学横浜市北部病院　　氏名　　岡田　圭伍

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
所属：昭和医科大学横浜市北部病院 放射線技術部　　氏名：岡田　圭伍
住所：〒224-8503　神奈川県横浜市都筑区茅ケ崎中央 35-1　　電話番号：045-949-7477